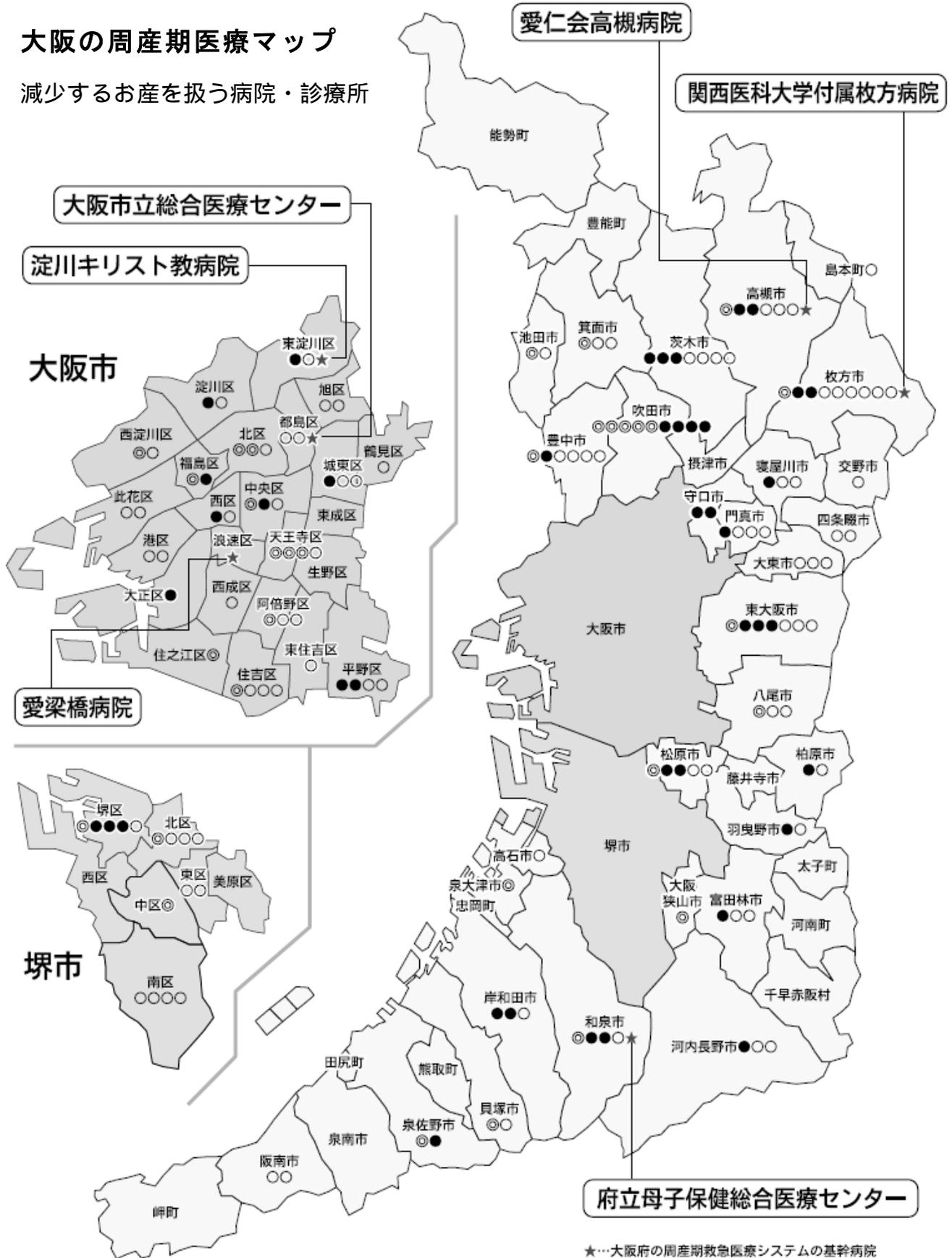


# 大阪でお産ができる病院は？

## 大阪の周産期医療マップ

減少するお産を扱う病院・診療所

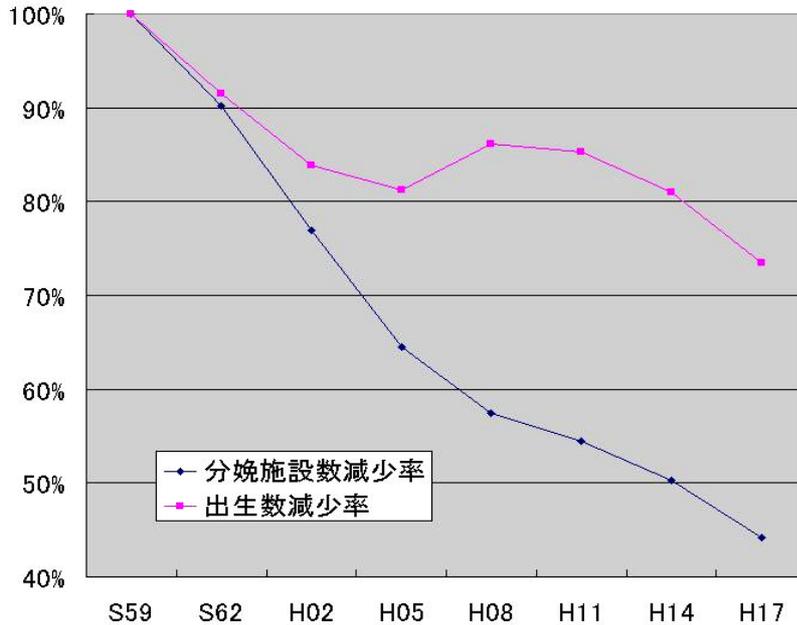


★…大阪府の周産期救急医療システムの基幹病院  
◎…大阪府の周産期救急医療システムの準基幹・協力病院  
●…分娩実施病院  
○…分娩実施診療所

< 医 療 >

# 少子化を上回るスピードで お産できる病院が減っている！！

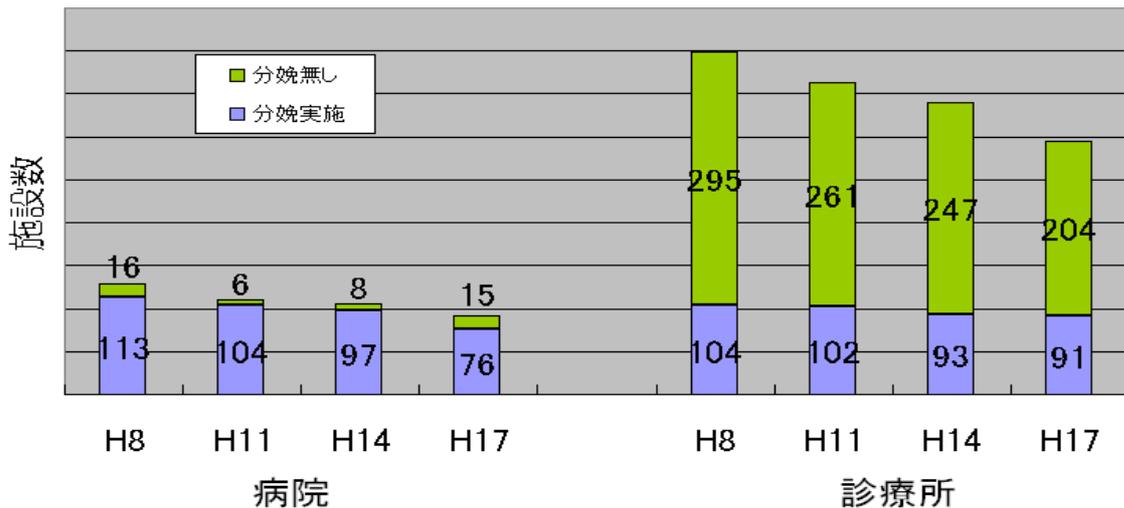
大阪における分娩施設減少率と出生数減少率の比較



厚労省医療施設調査・人口動態統計より作成（※S59年を母数として21年間の推移を比較）  
分娩を扱う1医療機関あたりの出生数はこの20年で診療所で倍増、病院では1.2倍に。

## 産婦人科はあるけれど・・・ お産扱い中止の病院が続出

産科産婦人科標榜施設に占めるお産を扱う施設の割合



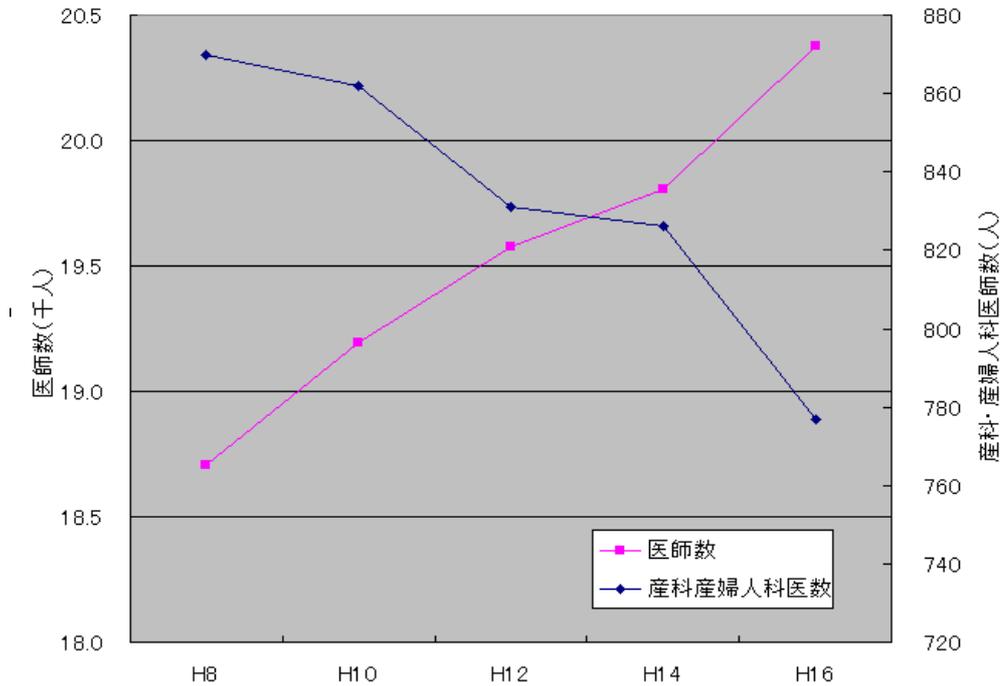
出所 医療施設調査(静態調査)

産科産婦人科の診療所は大阪で295施設。お産を扱っているのは約3分の1の91施設。産科医の不足・高齢化でお産を止める医療機関が増加。

<医療>

## 医者総数が増えるなかで産婦人科医は急激に減少！！

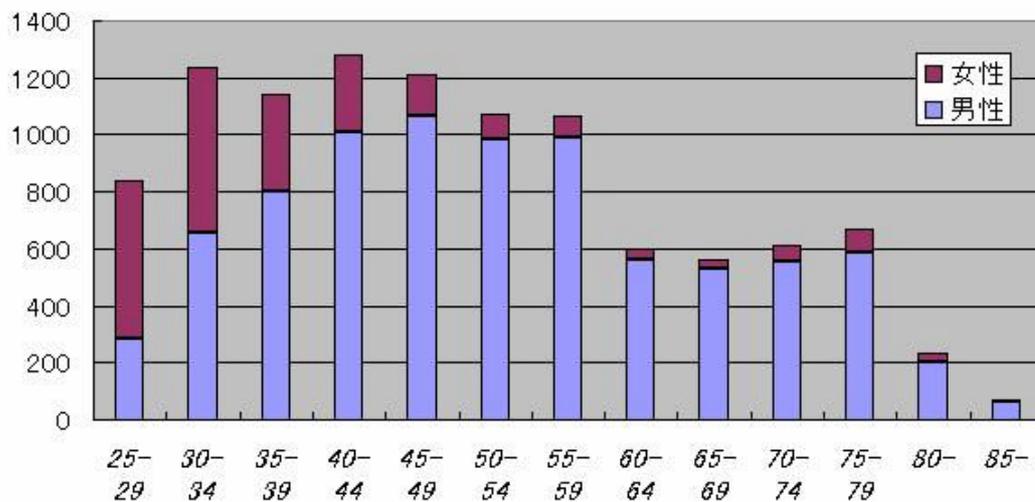
大阪における医師数と産科・産婦人科医の推移



お産は24時間体制。長い拘束時間や医療訴訟などから産科医志望者が減少。産科医を増やすには医師の総枠を増やすのと別の手立てが必要。

## 産婦人科医総数が減るなかで女性医師の割合が増加

産科・産婦人科医における男女比率



女性医師対策が周産期医療体制維持の点からも重要課題に。過酷な産科医療の現場の改善は必須。

<医 療>

## 安全な出産のために妊婦健診助成制度の拡充を 各市の妊婦健診公費負担制度

2007.8現在

| 市町村名  | 実施回数 | 市町村名  | 実施回数 |
|-------|------|-------|------|
| 大阪市   | 2回   | 松原市   | 2回   |
| 堺市    | 2回   | 大東市   | 1回   |
| 岸和田市  | 1回   | 和泉市   | 1回   |
| 豊中市   | 2回   | 箕面市   | 1回   |
| 池田市   | 1回   | 柏原市   | 1回   |
| 吹田市   | 1回   | 羽曳野市  | 1回   |
| 泉大津市  | 1回   | 門真市   | 1回   |
| 高槻市   | 1回   | 摂津市   | 1回   |
| 貝塚市   | 1回   | 高石市   | 1回   |
| 守口市   | 1回   | 藤井寺市  | 1回   |
| 枚方市   | 2回   | 東大阪市  | 1回   |
| 茨木市   | 3回   | 泉南市   | 1回   |
| 八尾市   | 1回   | 四條畷市  | 1回   |
| 泉佐野市  | 3回   | 交野市   | 1回   |
| 富田林市  | 2回   | 大阪狭山市 | 2回   |
| 寝屋川市  | 1回   | 阪南市   | 1回   |
| 河内長野市 | 2回   |       |      |

大阪府保険医協会しらべ

厚労省が望ましいとする妊婦健診は概ね14回。妊婦健診は全額自費のため、14回受診すると順調な出産でも10万円前後の費用がかかる。「最低5回は公費負担で実施すべき」との厚労省通知が07年1月に出され、自治体のうごきが注目される。